



槌音

桶川市立桶川中学校 学校だより
第6号
令和8年10月1日発行

〇〇の秋

校長 小高 剛

どんよりとした雨空の朝が続きましたが、今朝は青空が広がりました。久しぶりに見る空はいつの間にか高くなっていて、ふんわり秋の香りを感しました。

秋といえば、「〇〇の秋」。学校では、今月は校内音楽会・桶中彩を、来月には体育祭を行います。まさに、「芸術の秋」、「スポーツの秋」です。

さて、年度のちょうど半分が過ぎて、3年生にとっては中学校卒業後の進路を具体的に考える時期となりました。今月末には、第3学年の生徒・保護者の方を対象に進路説明会を開催する予定です。

進路というと高等学校等の上級学校に進むことと捉えられることがありますが、それは「進学」といいます。「進路」を考えるというのは、どういう人間になり、どう生きていくかを考えることです。そして、進路選択とは例えば、人間としての生き方を選択すること、生きがいのある人生を見付けること、自分の能力や可能性を最大限に伸ばすこと、満足のいく職業生活や社会生活を送ることができるようになること等をいいます。進学や就職は、進路選択の一環なのです。

ただ、今回の進路説明会は進学に係る内容が大半です。進路（進学先）選択は生徒本人と保護者が主体となって行うものですから、保護者の方はお子さまとよく話し合い、助言をしてあげてください。御自身の中学・高校のときの進路選択、職業についての喜びや生きがい、私を変えた出会い、私の選んだ道、人生の失敗や成功等、御自身の経験を伝えるのもよいでしょう。もちろん、保護者の方のお話だけでなく、お子さまの考えも聞いてあげてください。また、進路選択には、情報の収集、分析、選択が重要です。学校は、御家庭が主体となって進路を選択できるよう、助言、相談、情報提供等に努めてまいります。

中学校では、職業調べや職業体験、上級学校調べをはじめ、3年間を通して進路学習に取り組んでいます。卒業後の進路を決定することは3年間の進路学習の集大成であり、それは体験でもシミュレーションでもない実践です。ですから、御家庭におかれましても1年生のときから、上記のような進路選択につながる話題を取り上げてみてください。お子さま自身が自分の価値を理解するとともに、将来の夢と学ぶ意欲をもち、目標達成のために粘り強く努力することにつながるはずです。

「〇〇の秋」に「親子団らんの秋」を加え、進路の話題にも時折触れながら、秋の夜長を親子のコミュニケーションで楽しむのもよいですね。